

四谷地区の見守り協力員事業の協力員の方が、マスクでお困りの方へと作ってくださった布マスク。4月下旬に社協に寄贈しようとして東分室にご来所いただいたそうですが、あいにくコロナウィルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言中で東分室は窓口を休止していました。しかし、東分室と隣り合っている四谷高齢者総合相談センターの皆さんが、写真①のように手作りマスクの配布に協力をしてくださったのです。

また、寄贈者の方へメッセージを！と、マスクを受取った方にメッセージカードの記入を呼びかけてくださいました。「お礼にと小さな子どもが書いたアンパンマンの絵」「入院中の母に使用させて下さい」「個性のある鮮やかなマスクですばらしい！」など、幅広い年代の方からのたくさんの方の感謝のメッセージであふれていました。

いただいたメッセージカードは社協から、寄贈者へお渡ししたいと思います。

マスクを寄贈していただいた協力員の方、想いをつないでいただいた四谷高齢者総合相談センターの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

写真①



写真②

